雲の種類（十種雲形）一覧

雲は現れる高さと形で10種類に分けられます（気象庁）。（　）は読み方、下はよび名です。



巻雲（けんうん）

上層雲・すじ雲

白く細い、鳥の羽や絹糸のような、すじの形の雲。雲の中でいちばん高いところに現れます。



巻積雲（けんせきうん）

上層雲・うろこ雲、いわし雲

とても小さな白いかたまりが、うろこやさざ波のようにならんだ雲。かげはありません。



巻層雲（けんそううん）

上層雲・うす雲

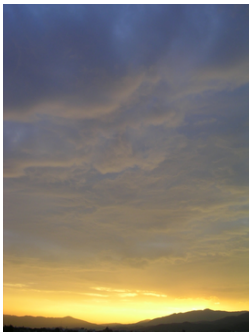
うすく白いベールのように空をおおう雲。太陽や月にかかると、まわりに光の輪（かさ）ができます。



高積雲（こうせきうん）

中層雲・ひつじ雲、まだら雲

白や灰色のかたまりがならんだ雲。巻積雲ににていますが、低いところにあり、ひとつひとつが大きく、かげがあります。



高層雲（こうそううん）

中層雲・おぼろ雲

灰色の層になった雲で、空の広い範囲をおおいます。太陽がすりガラスごしのようにぼんやり見えます（かさはできません）。



乱層雲（らんそううん）

中層雲・あま雲

灰色の厚い雲で、空全体をおおい、太陽を完全にかくします。



層積雲（そうせきうん）

下層雲・うね雲、くもり雲

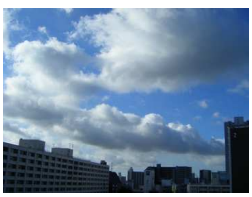
灰色や白の大きなかたまりが集まった雲。かたまりはくっついたり、はなれたりしています。



層雲（そううん）

下層雲・きり雲

いちばん低いところにできる灰色の雲。地面にとどくと霧になります。



積雲（せきうん）

下層雲・わた雲

わたをちぎったような、輪かくのはっきりした雲。日の当たる部分は明るく、底は平らで少し暗く見えます。



積乱雲（せきらんうん）

下層雲・入道雲、雷雲、かなとこ雲

上に向かって大きく発達した雲。雲の底はとても暗く、頂上が平らに広がって、かなとこの形になることがあります。

写真：気象庁（札幌管区気象台「雲の種類」）の写真を縮小して使用